

米子市スポーツ推進計画に掲げる施策の事業別実施状況

米子市スポーツ推進計画における施策	具体的事業内容	所管	平成30年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成30年度決算	次年度取組予定
基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実						
1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進						
(1) 子供のスポーツ活動の推進						
I-1 (1)-ア	ア 幼児期からの体力向上の推進 親子体力づくり大会	スポーツ振興課	体育の日に市民体育館で開催した。毎年300人を超える参加者数となっていたが、今大会では100人以上参加者が減ってしまった。原因としてはコスト面を意識し、大会告知用紙の配布数を減らしたことが考えられ、来年度からは周知方法を見直す必要がある。また、子ども達が運動に親しめる環境のさらなる充実を図るためにも、新たなイベントの創設について検討する必要がある。	【親子体力づくり大会】 H30.10.8(体育の日) 参加者数 192人	開催委託料 38,500円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 少年スポーツ教室	スポーツ振興課	少年スポーツ教室(10教室)を当初計画どおり開催した。参加者数は、29年度に比べて1,800人程度の増加となった。今後も子どものスポーツ活動への参加機会の拡充を念頭に、新たな種目の導入等を検討する必要がある。	【少年スポーツ教室】 参加者数 11,843人 (内訳) ラグビー 316人 柔道 4,500人 剣道 1,510人 ハンドボール 4,800人 陸上競技 282人 ミニバス 145人 体操 155人 夏季テニス 88人 夏季バドミントン 29人 夏季空手道18人	開催委託料 (内訳) ラグビー 48,000円 柔道 80,000円 剣道 80,000円 ハンドボール 48,000円 陸上競技 48,000円 ミニバス 48,000円 体操 48,000円 夏季テニス 18,000円 夏季バドミントン 18,000円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 小学生を対象とする各種大会	スポーツ振興課	小学生を対象とする各種大会(2大会)を開催した。29年度まで開催していたミニバスケットボール大会については、米子市バスケットボール協会から他大会との公平性や運営体制を考慮したうえで、今後は西部地区大会に統一したいと申し出があり、米子大会は廃止となった。野球及びバレーボールに関しては、今まで以上に運営体制に力を入れ参加者の増加に努めたい。	【小学生スポーツ大会】 参加者数 615人 (内訳) 野球 326人 バレーボール 289人	開催委託料 (内訳) 野球 50,000円 バレーボール 15,500円	継続 (ミニバスケットボール大会は廃止)
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 スポーツ少年団運営事業	スポーツ振興課	各スポーツ少年団の小学生同士の交流を目的とした「スポーツ少年団交流大会」を開催し、市主催のドッチビー大会への参加やボランティア清掃を行った。また、種目別交流大会(軟式野球、バドミントンの2種目)を開催したほか、子どもの健全な指導育成を目的とした、「野球ひじ」の検診を初の試みとして行った。	【スポーツ少年団交流大会】 H30.11.3 参加者数 111人 【市競技別交流大会】 軟式野球 10チーム バドミントン 100人 野球ひじの検診 120人	開催委託料 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-ウ	ウ 学校体育・部活動の充実 運動部活動推進事業	学校教育課	【配置校】 東山中…女子卓球部 淀江中…男子バスケットボール部 弓ヶ浜中…男女剣道部、女子バレーボール部 後藤ヶ丘中…女子新体操部、男子バレーボール部、女子バスケットボール部、男女柔道部 福生中…男女陸上部 【成果】 外部指導者を活用することにより、より専門的な指導が可能になった。	実施校 5校 部活数 9	補助金事業(県と市町で1/2) 合計 832,637円 (内訳) 市費 416,319円 県補助金 416,318円	補助金事業 (県と市町で1/2)で継続予定

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成30年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成30年度決算	次年度取組予定
1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進							
(2) 成年期からのスポーツ活動の推進							
I-1-(2)	各種スポーツ大会	市民レガッタ、正月マラソン大会、ドッチビー大会、インディアカ大会、スキー大会など、年齢・経験を問わず、市民の誰もが気軽に参加しやすい大会を開催することにより、スポーツ活動の機会を提供し、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	生涯スポーツの推進を図るため5大会を実施した。中でも市民レガッタは50回大会の記念大会であり、前年に比べ100人近く参加者が増えた。5大会全体の合計参加者数は増加傾向にあるが、一部参加者が減少した大会もあるため、更なるPRを行っていきたい。	参加者数 1,623人 (内訳) 市民レガッタ 532人 市民ドッチビー大会 140人 正月マラソン 828人 インディアカ大会 79人 市民スキー大会 44人	開催委託料 (内訳) 市民レガッタ 19,000円 市民ドッチビー大会 9,000円 正月マラソン 19,000円 市民スキー大会 36,000円	継続
I-1-(2)	市民体育祭	公民館地区又は中学校校区単位のチームで参加できる野球、バドミントン、バレーボール大会などを開催し、競技スポーツに親しむ機会をつくることで、地域住民の交流及び地域のスポーツ活動の推進を図ります。	スポーツ振興課	8大会を実施した。前年度と比べ、バレーボールを除き参加チーム数、参加者数ともに減少している。そうした状況から、種目ごとに競技団体と協議し、参加要項の見直し、年齢制限等の出場資格の緩和や1地区あたりの参加チーム数の枠を広げるなど参加者増加のための取り組みを行っている。	参加チーム 145チーム 参加者数 1,477人 (内訳) バドミントン 5チーム・52人 卓球 10チーム・146人 グラウンド・ゴルフ 74チーム・417人 バレーボール 14チーム・203人 ソフトテニス 11チーム・187人 ソフトボール 7チーム・152人 ゲートボール 14チーム・77人 野球 10チーム・243人	開催委託料 (内訳) バドミントン 42,200円 卓球 24,900円 グラウンド・ゴルフ 19,700円 バレーボール 50,900円 ソフトテニス 16,300円 ソフトボール 58,100円 ゲートボール 34,200円 野球 37,700円	継続
I-1-(2)	体づくり歩け歩け大会・体力テスト会	スポーツ推進委員が主体となり、健康増進のため、誰でも参加できる毎月1回のウォーキング(歩け歩け大会)、年間2回の体力テスト会を実施します。スポーツや体づくりへの関心を高め、気軽に運動に親しめる機会をつくり、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【体づくり歩け歩け大会】 年間12回の大会を計画通りに実施した。天候不良の日があったこともあり、前年度と比べ、参加者数は減少した。リピーターの参加者が多いことは良いが、新規参加者が少ないことが課題である。引き続き大会の周知と内容の充実、ウォーキング習慣の普及を目指す。また、公道を歩くため、安全の確保には留意していきたい。 【体力テスト会】 文科省からの委託事業として実施した。前年度と比べ、参加者数は減少した。より一層開催の周知に努める。	【体づくり歩け歩け大会】 12回実施 延参加者数 353人 【体力テスト会】 2回実施 延参加者数 54人 (前期) H30.7.1 弓ヶ浜体育館 26人 (後期) H30.10.21 福生西小学校体育館 28人	【体づくり歩け歩け大会】 旅費 40,640円 施設使用料 9,550円 【体力テスト会】 開催委託料 24,000円	継続
I-1-(2)	いきいき健康ライフ教室	前年度の健診結果で、特定の検査項目が要指導だった40歳から64歳の方を対象に、健康体力診断、運動プログラムの作成、運動指導、食生活や日常生活の個別指導、講義を行うことで、健康づくりを図ります。	健康対策課	10回シリーズの教室を開催し、生活習慣の改善、継続的な運動実践に向けて支援を行った。参加者の中には、運動の習慣化や、食事面での改善が見られた。初参加者数は16人。昨年度に比べ5名増であったが、今後も新規の参加者を増やしていくことが課題である。	年間10回開催 参加実人数 24人 延参加者数 185人	講師 154,000円(15,400円×10回) 運動指導士 19,500円(6,500円×3回) 栄養士 13,600円(3,400円×2人×2回) 運動測定及び運動プログラム作成委託料 200,000円 通信運搬費 6,180円 消耗品費 2,592円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成30年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成30年度決算	次年度取組予定
1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進							
(3) 高齢者のスポーツ活動の推進							
I-1-(3)	がいなみっく予防トレーニング（通所型運動機能向上事業）	生活機能の低下が認められる高齢者を対象に、フィットネスクラブ、介護保険施設等で筋力トレーニング・有酸素運動・ストレッチ等を、理学療法士・作業療法士又は健康運動指導士により行います。運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	長寿社会課	18ヶ所のフィットネスクラブや介護保険施設で実施。がいなみっく予防トレーニング終了後も、そのまま利用した施設で一般利用につながっている方が多い。	【がいなみっく予防トレーニング】 参加実人数 534人 延参加者数 6,296人 ※実施回数は、施設ごとで曜日や時間が異なるため不明	8,137,800円	継続
I-1-(3)	ふらっと運動体操（通所型運動機能向上事業）	高齢者を対象に、ふれあいの里等、市内3箇所の施設に設置された運動トレーニング機器を開放し、予約なしでふらっと立ち寄り気軽に運動できる環境を整備することにより、運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	長寿社会課	各々のペースで、メニューを考えて運動する雰囲気が定着している。また、各会場で参加者同士の会話も見られ、仲間づくりにも繋がっている。今後は体力測定等、運動効果の検証を行い、より充実した事業を展開していく必要がある。	【ふらっと運動体操】 延参加者数 4,012人 実施回数 144回（3会場×48回）	1,794,600円	継続
I-1-(3)	よなGO!GO!体操普及事業	高齢者が楽しく運動できるように「365歩のマーチ」の曲に合わせて、立ったり座ったりなど日常生活の動きを取り入れながら、普段動かさなくなった関節や筋肉を動かす体操です。よなGOGO体操を普及させ、高齢者が出来るだけ、長く健康でいきいきした生活を送れるよう、運動習慣のきっかけづくりとすることを目指します。	長寿社会課	各地区の健康づくり・地域サポーターがサロンや地域の行事でよなGO!GO!体操を実施。地区によっては、地域サポーターが少なくなっている。	各地区ごとのよなGO!GO!体操の実施回数の把握はできていない。	なし	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成30年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成30年度決算	次年度取組予定
基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実							
2 障がい者のスポーツ活動の推進							
I-2	福祉大会等開催助成事業	鳥取県内で実施されている、さわやか車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ祭、アクアスロン皆生大会等の障がい者の各種大会の開催経費の一部を助成します。大会を通じて、障がい者がお互いの理解と親睦を深めると共に、積極的に社会参加する意欲を喚起することを目指します。また、市民の障がい者に対する正しい理解の啓発を図ります。	障がい者支援課	鳥取県内で実施された障がいのある人の大会である車いすマラソン大会、アクアスロン皆生大会について、開催経費の一部を助成した。大会を通じて、障がいのある人がお互いの理解と親睦を深めると共に、積極的に社会参加する意欲を喚起した。また、市民の障がいに対する正しい理解の啓発を図った。	【さわやか車いすマラソン大会】 H30.9.8(開会式) H30.9.9(本大会) 参加者数 選手 1,164人、関係者 600人 本大会は、大雨警報により中止 【アクアスロン皆生大会】 H30.10.7(前夜祭) H30.10.8(本大会) 参加者数 選手 93人、関係者等(ボランティア含) 281人	【さわやか車いすマラソン大会】 補助金 56,508円 【アクアスロン皆生大会】 補助金 100,000円	継続
I-2	各種スポーツ・体操講座(障がい者福祉施設管理運営事業)	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車椅子バスケットボール、風船バレーボール、GOGO体操等のスポーツを行います。スポーツを通じて体を動かす喜びを知ってもらうことで、身体能力の向上と仲間との交流を図ります。また、運動不足になりがちな方々の身体能力の回復を図ります。スポーツ大会の際には、障がいのない人がボランティアとして参加するなど、障がいのある人とない人の交流促進を図ります。	障がい者支援課	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車椅子バスケットボール、風船バレーボール、GOGO体操等のスポーツを行った。運動不足になりがちな障がいがある人が、スポーツを通じて体を動かす喜びを知り、身体能力の向上と仲間との交流を図った。また、スポーツ大会の際には、障がいのない人が障がいがある人の補助を行うなど、障がいのある人とない人の交流促進を図った。	グラウンドゴルフ 33回 ヨガ 12回 卓球 24回 車椅子バスケットボール 19回 風船バレーボール 23回 アーチェリー 51回 GOGO体操 23回	指定管理料 793,000円	継続
I-2	米子市こころの広場事業	在宅療養中で、精神に障がいのある方が、体育施設等でスポーツ(卓球、バドミントン、風船バレー等)を行うことで、他者との交流を図ります。	障がい者支援課	年1回(6月)にスポーツを計画し、実施した。年計画の他に、スポーツ交流会(地域活動支援センターエポック翼主催)へ参加し、市内の事業所へ通っている仲間と交流を図った。	【スポーツ(卓球、バドミントン、風船バレー、ソフトテニス、フットサル)】 H30.6.21 米子サン・アビリティーズ 参加者数 19名 【スポーツ交流会(卓球、バレー、ソフトボール、レクリエーション)】 H30.9.14 市民体育館、東山体育館 参加者数 7名	報償費 6,500円 消耗品費 13,117円 その他使用料 900円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成30年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成30年度決算	次年度取組予定
基本方針Ⅱ スポーツ活動によるコミュニティづくりと地域振興							
1 地域のスポーツ活動の推進							
Ⅱ-1	スポーツ推進委員協議会運営事業	米子市スポーツ推進委員協議会を運営し、スポーツ推進委員により、住民に対するスポーツの実技の指導その他、スポーツに関する指導及び助言を行うことで、地域でのスポーツ活動の活性化に向けた取り組みを行い、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【スポーツ推進委員協議会】 市民を対象とした体力づくり歩け歩け大会、体カテスト会(2回)、ドッチビー大会の開催、機関紙の発行など主管事業を開催した。 また、協議会内部の事業として、スポーツ推進委員を対象としたふらばーるバレーボール大会、ニュースポーツ講習会(バウンスポール、ポッチャ)、熱中症対策、ストレッチ体操研修会を実施した。	【ふらばーるバレーボール大会】 参加者数 30人 【バウンスポール講習会】 参加者数 23人 【ポッチャ講習会】 参加者数 21人 【熱中症対策、ストレッチ体操研修会】 参加者数 26人	スポーツ推進委員協議会運営費 2,010,000円	継続
Ⅱ-1	学校体育施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域に開放します。学校体育施設を有効活用することにより、地域住民にスポーツ活動の場を提供し、地域でのスポーツの活性化を図ります。	スポーツ振興課	予定どおりに実施した。 今後も学校及び各地区の管理運営委員会で利用調整を図り、学校体育施設の開放に努める。	【利用実績】 小学校 18,036件、393,837人 中学校 2,808件、40,208人 【委員会当たり平均実績】 小学校(26委員会) 693件、15,147人 中学校(11委員会) 255件、3,655人	印刷製本費 85,752円 手数料 12,702円 管理委託料 780,000円	継続
Ⅱ-1	やって未来や塾(米子市地域健康づくり応援事業)	地域住民を対象に、健康運動指導士が運動を主体とした健康づくりのための運動指導及び活動支援を行います。地域住民が、自主的な活動として楽しく継続的に取り組んでいくことを支援し、運動を主体とした健康づくりを図ります。	長寿社会課	継続的支援、新規立ち上げ支援を行った。 普段から積極的に取り組んでいるグループに対し、年3回運動等の内容についての支援を行い、自主活動の充実につなげた。 新規の立ち上げを増やしていきたい。	【新規活動支援】 2ヶ所、20回 延参加者数 505人 【継続活動支援】 27カ所、79回 延参加者数 1,157人	555,000円	継続
Ⅱ-1	米子市健康づくり地域サポーター養成事業	地域で運動を主体とした健康づくり活動をしたい方が、「健康づくり地域サポーター」として、地域で健康づくり活動を推進していきます。地域サポート講座や研修会等で得た介護予防に関する知識の地域への普及、「よなGOGO体操」の普及活動、地域の体力測定会やサロンでの健康づくり活動のサポートなどを行うことで、地域全体での高齢者を支える仲間づくりをすすめ、地域での健康づくりを目指します。	長寿社会課	地域サポート講座基礎編とスキルアップ編を実施し、地域でのサロン活動に活かしてもらった。 サポーターの平均年齢が高くなっており、地域によってはサポーターの数が減少していることから、若いサポーターの確保が必要である。	【基礎編】 1回 参加者数 102人 【スキルアップ編】 4回 参加者数 会場1:81人、会場2:50人	167,400円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成30年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成30年度決算	次年度取組予定
2 スポーツに触れる機会の提供							
II-2	プロスポーツの支援活動	地元で活躍するプロスポーツチームの活動を応援し、また、競技、チームに関する情報発信や、ホームゲームに合わせてイベントを開催するといった、市民にプロスポーツをより身近に感じてもらえるような機会の提供に努めます。	スポーツ振興課	ガイナレ鳥取ホームタウンデーの開催に合わせてキックターゲットやスピードキングなどのイベントを実施し、ホームゲームを盛り上げるとともに米子市のPRを行った。	【ガイナレホームタウンイベント】 H30.11.4(日) 参加者数 180人	消耗品費 62,400円 手数料 8,640円	継続
II-2	全国トライアスロン皆生大会	日本トライアスロン発祥の大会であり、本市を発着点として鳥取県西部一円で開催されています。大会では毎年数多くのボランティアの方が参加し、市民と選手が直接触れ合う機会となっています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	平成30年7月に「全日本トライアスロン皆生大会第38回大会」を予定どおり開催した。定員の2倍近くの参加申込者数があり、約4,000人を超えるボランティアの参加があった。県外からの参加者も多く、誘客を促進できた。	【全国トライアスロン皆生大会】 参加者数 個人900名、リレー57チーム 申込総数 個人1,751人、リレー67チーム	事業費(委託料) 7,894,000円	継続
II-2	皆生・大山SEA TO SUMMIT	日本海から大山山頂までをカヤック・自転車・登山の3種目で目指す体験型環境スポーツイベントです。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	当初の計画どおり開催した。平成30年度大会は第10回大会となり、大山開山1300年祭との同時開催で参加人数は例年より大幅に増加した。今後も参加人数の増加を目指し、大山町、日吉津村と連携を図り地域の魅力を発信していきたい。	【皆生・大山SEA・TO・SUMMIT】 参加者数 272人	事業運営負担金: 500,000円 報償費: 10,000円	継続
基本方針Ⅲ スポーツ環境の充実							
1 競技力の向上							
III-1	体育協会運営事業	米子市体育協会を運営し、スポーツ団体との連絡調整を行い、優秀な成績を収めた競技者を表彰するなどして、各種スポーツの振興を図るとともに、各競技団体の競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	米子市体育協会として、以下の事業を実施した。 ・9種目のスポーツ教室、10種目のスポーツ大会、8種目の市民体育祭を加盟団体に委託して実施することにより、市民体育行事への推進と協力を図った。 ・鳥取県民スポレク祭実行委員会に参画し、加盟団体に対し参加の呼びかけと参加者の取りまとめを行った。 ・県大会以上の大会で優れた成績を挙げた小学生から一般の選手について、加盟団体からの推薦に基づき選考し、表彰した。 ・全国大会に出場した小学生に対して、激励金を交付した。	【鳥取県民スポレク祭参加者実績】 2,065人 【スポーツ表彰事業】 個人 203人 団体 44団体 【小学生全国大会出場激励金交付事業】 個人 19名 57,000円 団体 7団体 122,000円 種目 柔道、剣道、空手道、卓球、陸上、ソフトテニス、バレーボール、バスケットボール	米子市体育協会補助金 110,000円	継続
2 スポーツ施設等の充実							
III-2	体育施設管理運営事業	体育施設については、各種スポーツ大会の会場及び災害時の避難所となるため、危険箇所および老朽箇所の改修を行い、利用者に安全・快適に体育施設を利用してもらえるよう管理運営に努めます。	スポーツ振興課	・市民体育館 整備方針を継続検討中。 ・住吉体育館 改築工事を施工した。 ・台風24号により被災した日野川運動公園について、災害復旧工事を実施した。	【住吉体育館】 旧耐震基準体育施設耐震化 【日野川運動公園】 災害復旧	【住吉体育館改築建築主体工事】345,600,000円 【住吉体育館改築電気設備工事】21,064,320円 【住吉体育館改築機械設備工事】11,654,485円 【住吉体育館改築建築主体工事監理業務】10,800,000円 【住吉体育館改築建築設備工事監理業務】2,235,600円 【日野川運動公園災害復旧工事】24,969,600円 【日野川運動公園災害測量設計業務委託】4,384,800円	継続